

勝負は ドライ

1. 血液プロファイルテストとは？

- 血液体状から→摂取と消費の栄養分の過不足を診断するやり方
- 栄養管理上の改善点を見出し→疾病予防につなげることが目的

血 液 プ ロ フ ア イ ル テ ス ト



実力を発揮してもらう！



必要な栄養



病気になる前の小さな異常を見つけて！

2. 従来の血液検査との相違点は？

| | プロファイルテスト | 従来からの血液検査 |
|----|--------------------------------|---------------------------|
| 目的 | 飼養（栄養）管理の改善 栄養分のバランス評価 | 疾病牛の早期発見・早期治療 |
| 対象 | 健康牛、牛群として診断（群管理の手段） | 疾病牛、個体ごとの診断（個体管理の手段） |
| 効果 | 疾病の未然防止 生産性（乳量、乳成分、繁殖成績）の向上 | 疾病発生の減少 類症鑑別、治療方針、予後診断 |

3. 勝負はドライ時の健康管理に!

● 分娩後60日間に周産期病が集中

→ 疾病発生の誘因は、乾乳時の管理にある

→ 栄養バランスが良いと、疾病は減らせる

● 適正なボディコンディションを保持し、妊娠牛の健康状態を把握する

→ 最も確実で有効な手段は、血液プロファイルテストの実施



周産期（妊娠28週～分娩後8週）の主な疾病

乳熱、ケトーシス、脂肪肝、後産停滞、第四胃変位、乳房炎など

勝負は
ドライ

4. 牛群検定と併せ対象牛を絞る！

● 泌乳牛の健康状態は毎月の検定記録でつかめる

→ 周産期病の軽減、生産性や繁殖成績の向上に活用されている

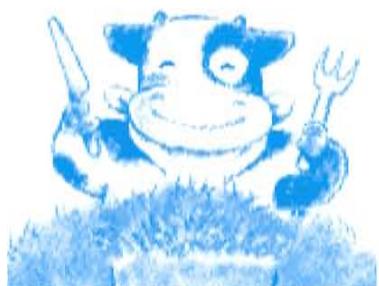
● プロファイルする対象牛を絞ると

→ 記録のない乾乳中の妊娠牛である

→ これが経済的な負担が少なく、実用的な方法である

とくにプロファイルを要する対象牛

- ① 分娩間隔、空胎日数の長い牛
- ② オーバー（アンダー）コンディションの牛
- ③ 周産期病の既往歴のある牛など



5. 乾乳期の適正な血液性状数値!

| 項目 | 適正範囲 | 評価 |
|----------|---------------|---------------------|
| ヘマトクリット | 30~35 % | 栄養摂取状況 (貧血と脱水症状) |
| 血糖 | 60~65 mg/dl | 糖代謝 |
| 遊離脂肪酸 | 0.5 以下 mEq/L | 脂質代謝 (体脂肪動員の指標) |
| 尿素態窒素 | 11~15 mg/dl | 蛋白代謝 |
| カルシウム | 9.5~10 mg/dl | Caの過不足 |
| 無機リン | 4.5~5.0 mg/dl | Pの過不足 (Caと同様の推移) |
| マグネシウム | 2.0~2.2 mg/dl | Mgの過不足 |
| 総コレステロール | 90~100 mg/dl | 総合的な栄養状態 |
| γ-GTP | 30 以下 IU/L | 慢性的な肝機能障害 |
| GOT | 50~80 IU/L | 急性の肝機能障害 |
| インスリン | 10~20 μU/ml | 糖代謝 |

(酪農学園大学 小岩教授による)

勝負は
ドライ

6. プロファイルに役立つデータ!

疾病原因の見当を付けるために

牛群検定成績

- ・乳量、乳成分のバランスや動き、能力レベルは?
- ・乳飼比や飼料効果、繁殖成績、体細胞数などは?



疾病発生状況

- ・何時から、何頭が、どの泌乳ステージで、どんな疾病に罹ったか?
- ・発症牛の産次は?
- ・発症が進行中か終息したか?

飼料給与状況

- ・どんなエサを、どの位与えたか、給与回数と順序は?
- ・発酵の集中化、エサの急変、不良品質の給与はなかったか?
- ・濃厚飼料の一回当たり給与は3kg以内か、粗飼料は乾物で10kg以上か、濃厚飼料は15kgを超えていないか?
- ・食い負け、食い止まり、かため食い、選び食いはしていないか?
- ・飼槽の残飼量や糞の状態はどうか?

血液検査成績

- ・何時、何頭検査を実施したか?
- ・どの項目が、どの位悪かったか?

勝負は
ドライ